

肺がん・肺がん検診について

肺がんってどんな病気？

日本ではがんによる死亡原因の上位に位置しています。

肺がんの最大の原因は**喫煙**です。喫煙者は非喫煙者に比べて、肺がんになるリスクが3~4倍になります（非喫煙者でも**受動喫煙**により肺がんになるリスクが高くなることが報告されています）。



検診で早期に発見して治療することにより、肺がんで亡くなることを防ぐことができます。検診は**自覚症状***がないうちに受けることが大切です。

※**血痰や喀痰、長引く咳、胸痛、声のかすれ、息切れなどの症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。**

肺がん検診について

松伏町では、国が「**死亡率を減少させることが科学的に証明された**」**有効な検診**としている**胸部X線検査**を、国が推奨する方法で実施しています（**喀痰細胞診**は、令和8年度から国の推奨から除外されたため、実施しません）。

肺がんの中には急速に進行するがんもあるため、**40歳になったら年に1度、継続して受診し、「要精密検査」という結果を受け取った場合には必ず精密検査（胸部CT検査や気管支鏡検査）を受けるようにしてください。**

●胸部X線検査

大きく息を吸い込み、しばらく止めて撮影します。放射線被ばくによる健康被害はほとんどないとされています。

X線検査の結果は、二重読影（2名の専門医が診ること）で判定されます。



●喀痰細胞診について

今まで50歳以上の重喫煙者に対し実施してまいりましたが、効果が非常に小さいことから『**自治体の実施する検診として実施しないこと**』が推奨されたため、**令和8年度より実施しません。**なお、**喀痰が続く方は、早期に医療機関を受診してください。**

「肺がん」「がん検診」などの情報についてもっと詳しく知りたい方へ

国立がん研究センターの『がん情報サービス』では、わかりやすく確かな情報をお届けしています。

がん情報サービス



ganjoho.jp

